



かぜ ひかる 2015年9月号  
全国福祉保育労働組合東海地方本部  
〒456-0006  
名古屋市熱田区沢下町9-7  
労働会館東館405  
TEL 052-881-2971  
FAX 052-881-2998  
e-mail fukuhotk@onyx.dti.ne.jp  
<http://www.fukuho-tokai.jp/>  
発行責任者／寺坂 渉

# 職場でも、地域でも 声を上げ、伝えていこう！



安保法案廃案へ「特別決議」を採択した後、「戦争やめて！」のバナーを一斉に掲げる大会出席者。翌日の中日新聞に大きく掲載されました。



145人の出席代議員・オブザーバー・来賓の方々・執行委員会を含め、192人が参加し、25本の発言で活発な討議がされました。

大会宣言の採択のほか、今大会で、安保関連法案を廃案にするまで声を上げ続ける「特別決議」も満場一致で採

## 東海地方第29回定期大会



執行委員長  
寺坂 渉

### 労働者の視点で職場を点検し 要求を出し合い、討議しよう

#### 開会挨拶

今年度は、社会福祉法「改正」の審議や、戦争法案の問題など、私たち社会福祉労働者の真意が問われる1年でした。私たちは、日々現場で利用者に向き合って

の仕事に誇りを持ちながら実践をしています。忙しさもあり、大切だと感じていても活動に前向きになれない悩みを抱えながらも、主体的に学習し運動も企画・参加してきました。しんどい中でも組合員一人ひとりが積極的に活動の大切さを捉え運動を進めて行く姿は、私たちが大切に想つて居る「誰もが幸せに過ごせる社会」への第一歩につながると確信

しています。

この仕事で働き続けたいから

し、要求を出し合い討議していく

ことが、私たち社会福祉に携わる人たちの待遇改善に繋がっていく

ます。だからこそみんなががんばっているからと自己解決するのではなく、分会で思いを出し合うこと

がこれからもっと大切であると考えます。これから各分会でも世代交代を迎えるところが多いと

思います。このような想いや活動の継承を意識的に行っていく事

が大切です。

### 「戦争やめて！」のバナー掲げ 安保法案廃案へ「特別決議」を採択

9月6日(日)労働会館東館本

ルにて、福祉保育労働組合東海地方

の第29回定期大会を開催し、

16運動方針や15秋闇方針、ス

ト権、役員体制などを確立し

ました。

145人の出席代議員・オブザーバー・来賓の方々・執行委員会を含め、192人が参加し、25本の発言で活発な討議がされました。

大会宣言の採択のほか、今大会で、安保関連法案を廃案にするまで声を上げ続ける「特別決議」も満場一致で採

発言の中でも、私たちが声を上げて伝えていくことが大切というキーワードが多くありました。こんな風に職場でも地域でもそして新聞マスコミにも訴えて、私たちの実態や活動を広く知らせていくまじょう。組合を大きく広げていきましょう。

## 戦争法案、職員会で参加

ゆたか支部 平岡代議員

8月8日にデモ行進があり、職場からも9名の参加があった。経営陣も戦争法案反対のアピールを考えていたので職員会として出した。組合員でなくとも参加しやすいようにその後食事会を企画してやった。今まで集会などに参加していなかつた人も参加しているようだ。本当に変なことになつていて、職場として組合員の拡大をめざしていきたい。

## 国会前デモに参加して

すずかけ分会 加藤代議員

国会前のデモに参加して人がとても多く学生の方のスピーチに熱い思いが感じられた。これからも人を人として思うことが大事。安倍総理は、人を人と思つていないと感じられた。これからもデモに参加していきたい。

## NPT行動について

めいほく障害部 塚本代議員

NPT再検討会議の行動へ行けやまち分会 西川代議員のぎく分会 越須賀執行委員小川代議員西田執行委員

原水爆禁止世界大会に参加して70年目にして初めて長崎に被爆者の方を呼んだ。仲間で学習を深め、70年前を忘れず平和の声を一緒に上げ続けましょう。

## NPT行動について

めいほく障害部 塚本代議員

NPT再検討会議の行動へ行き、核兵器廃絶署名を届けてきた。組合学校や呼んでくれた支部・分会で報告したが、もっと多くの人に知ってほしい。めいほくでも平和コンサートを行い被爆者の方を呼んだ。仲間で学習を深め、70年前を忘れず平和の声を一緒に上げ続けましょう。

## 職場闘争について

ぐみの木分会 杉本代議員

原水爆禁止世界大会に参加して一日として通り過ぎてしまうが、みんなで想いをはせることの大いに、社会福祉法人に肩代わりさないといふ声も上がっている。有志で考えて地本に提案していく。

## 9・3中央行動に参加して

みなと分会 大川執行委員

本来福祉は公的であるべきなのに、社会福祉法人に肩代わりさせようと内部留保ありきで法案を通そうとしている。基本報酬が引き下がつていて、中で、働き続けるのは難しい。非正規が増えていく。福祉職場が家庭と両立

できない職場になつていて、きっと伝えるよう声を出してい

くことが大事。また、戦争法案も問題。通つたら大変なので、めまぐるしい情勢だからこそ共に頑張つていきたい。

## 団交を終えて

新瑞福祉会分 松原代議員

労使基本協定で「同意を得て」を入れた文言で理事会とは同意が得られず昨年は締結を見送つた。今年も要求したが答えは同じ。今年はいれずに締結するが、対等平等の立場でやつていく。

今年は50周年の取り組みをした。職員会議で話を進められ、出席が当然という形。若者は企画も振られた。保護者より職員中心で抱つて仕事のようになつた。理事から「保護者との共同の行事に資金は支払わない」と、やる気がなくなるような発言がされた。意欲的に働きたい。気持ちを出し合えるような分会の雰囲気作りをしていきたい。

## 要求アンケートのとりくみ

そよ風分会 加藤執行委員

若い組合員も意見を出しやすいように、自分たちの仕事に返ることだと意識している。平和が大事とはなつ合い「安保関連法案」に対する行動にも結集してきた。

## 要求アンケートのとりくみ

南部地域療育センター 南部地域療育センター

9月11日の座り込みにも行く!自分たちの仕事に返ることだと意識している。平和が大事とはなつ合い「安保関連法案」に対する行動にも結集してきた。

## 要求アンケートのとりくみ

要求アンケートのとりくみ

9月11日の座り込みにも行く!自分たちの仕事に返ることだと意識している。平和が大事とはなつ合い「安保関連法案」に対する行動にも結集してきた。

## 職場闘争について

さくらんぼの会分会 濱田代議員

これまで個人で組合に加盟していたが分会化して2年。今までの団交は、理事会主導で思いを聞いてもらう場としてやつてきた。今は本物の団交をした。4月から職場改善を実現した。矛盾点や確認書締結などの課題を整理し、次回団交を申し入れた。分会の要求を取つている。戦争法案の集会なども呼びかけ、「本来の組合活動つて?」を考えながら進めていきたい。

## 職場闘争について

みなど福祉社会分会 相川代議員

勤続年数4年目までが多くの時間を・どこでやるかなど色々な問題がある。月1で集まるが参加人数が少ない。けど悩みやしないことが大切。団交は毎回悩むことが多いことを伝え、支部や地本に相談しながら働き続けられるといい。

## 職場闘争について

みどりの丘福祉社会理事会と団交を行つ。2年前に調理員をB等級にしてほしいと要求したが決して恥ずかしいことじゃない。自分たちを大事にしてもらえたことをしていかないといけない。それが職場の理念になる。

## 調理員B等級の要求について

どんぐり分会 山森代議員

みどりの丘福祉社会理事会と団交を行う。2年前に調理員をB等級にしてほしいと要求したが決して恥ずかしいことじゃない。自分たちを大事にしてもらえたことをしていかないといけない。それが職場の理念になる。

## 勤務時間について

どんぐり分会 山森代議員

5月10年目がいなくてその上は20年選手。新規事業で職場がたくさんある状況の中、分会をどうかんしながらしていいく。

## 勤務時間について

どんぐり分会 山森代議員

5月10年目がいなくてその上は20年選手。新規事業で職場がたくさんある状況の中、分会をどうかんしながらしていいく。

## 支部活動の報告

熱中港支部 服部代議員

毎月の会議で「福祉のひろば」の読み合わせをしたり、感想を出し合つたりしている。会議の場所は各施設を使ってやつてある。未組織にも拡大して仲間を拡げていきたい。地域交流企画として、10月18日(土)15時か

渉をした。インフルエンザ代り、昼の執行委員会にも執委員を送り行委員を送り出せるように頑張つていきたい。

「常に訴えていく」

めいほく分会 市橋代議員  
組合・理事会と「労使基本協定」も文書で交わしたのに、トツブダウンになつていて感じる。父母との行事について「仕事と認めて」と要求に入れ

きみよし保育園のグループディスカッションでは少人数で話せたことで自分の方に要求が見えた。組合活動は自分たちの仕事に返ることだとどもたち、職場に返ることだと意識している。平和が大事とはなつ合い「安保関連法案」に対する行動にも結集してきた。

なつた。分会はかり見てほしに頼んでいきたい。

事と認めて」と要求に入れ

くまのまえ保育園のきく保育園のこども達も大事にできる。それ

かり押さえていきたい。自分たちを大事にして欲しいと訴えることをしていかないといけない。

しつどい思いをしていることにしっかりと向き合つてほしい。要求のものになつていて思ひをしつかり押さえていきたい。自分たちを大事にして欲しくてもらえた。職場をしつかり見てほしに頼んでいきたい。

かやまのまえ保育園のきく保育園のこども達も大事にできる。それ

が職場の理念になる。

自分たちを大事にしてもらえたことをしていかないといけない。

自分が大事にしてできる。それが職場の理念になる。

自分たちを大事にしてもらえたことをしていかないといけない。

新執行部です よろしくお願ひします

執行委員長 寺坂涉 ひまわり保育園

副執行委員長 安藤光枝 池内わらべ保育園

書記長 藤井知也 めいほく保育園

石脇のぞみ みよし保育園

大川彩子 くまのまえ保育園

木戸夏希 島田幸子 新瑞福祉会

西田知也 岡村悦子 新瑞福祉会

薄美穂子 井上若紀 新瑞福祉会

西田知也 岩村悦子 新瑞福祉会

書記長 藤原佳子 書記局

原澤あゆみ くまのまえ保育園

酒井美咲 関谷祐子 天白福祉会

中村英司 白谷英子 春日井福祉会

長沼恒男 堀内友美 発達センターちよだ

野澤満美 石渡友美 天白福祉会

八萬史織 田代保育園

藤井宏子 衣澄恵 あいかわ保育園

藤野りか 佐々木千鶴 新瑞福祉会

本田まなみ けやきの木保育園

宮越なつき ひわの実保育園

安田美紀 田代保育園

長沼恒男 滝澤朋子 新瑞福祉会

林満美 田代保育園

渡辺友美 あいかわ保育園

原朋子 清水まなみ 新瑞福祉会

加藤圭一 かわらまち保育園

神田春美 東部地域教育センターまつど

渡辺友美 ひわの実保育園

藤井宏子 ひわの実保育園

藤野りか ひわの実保育園

安田美紀 ひわの実保育園

西田春美 ひわの実保育園

西田春美 ひわの実保育園

西田春美 ひわの実保育園

西田春美 ひわの実保育園

西田春美 ひわの実保育園

前も団交で、保護者との行事の後はせめて有給休暇を入れて身体を休めたい。など要求した。9月17日に話し合いをする予定で、その前に分会をする。

**非常勤職員を組合に勧誘してすずかけ分会 新城代議員**



利用者さんには筋ジスの方が多く、看護師さんと共に働くのが正規で雇用できない。職場での連携は重要。すばらしい人。「この人と一緒に組合活動ができたら良いな」と思った。負担が増えると思ったが声をかけた。一緒に臨パ部会に参加し組合を知つてもらう。すずかけで初めて非正規の方が加入した。分会会議をいつやるかなど悩みもあるが、是非職場の非正規の方に積極的に声をかけて欲しい。「仲間とともに」を大切にしたい。

**「実現させる会」の活動報告**

**ちよだ分会 加藤代議員**

今年度から民調の支給の形が変わった。出席率を元にするので体調を崩しやすい重度の障害の子には気持ちがつらい。どんな障害があっても安心して預けられるような補助制度であつて欲しい。「実現させる会」で民調を守る署名を6

25本の発言で、平和関係が5本と例年以上でした。その他の発言でも平和に触れられていました。発言はすべて一人ひとりが行動する思いにあふれています。平和だけでなく、職場闘争にしても、国・自治体へ声を上げていくことについても。

組合活動は、働き続けたいという思いから、学習と仲間の力によってこの職場や社会を良くしていきたい行動に発展していきます。「みんなで話して、みんなで決めて、みんなで行動」こんな組合活動の原則がしつかり実践されている分会・支部の姿に、お互いが学びあい励ました大会討論でした。

自分たちを大切にして欲しいという思いを大事にしましよう。それは仕事で子どもや利用者に返っていきます。組合活動は大変なときもあるけれど、自分で「力が出るやり方」を摸索しながら、今年一年進んでいきましょう。